

埋込モジュラジャック

カテゴリ6 8極8心

JEC-BN-LW6 シリーズ

お買い上げいただきありがとうございます。
製品を正しく使用いただくために、
この取扱説明書をよくお読みください。

- Cat.6規格の配線システムでは250MHzに及ぶ広帯域信号を扱う為、施工の良否が配線システムの伝送性能を大きく左右しますので、従来のCat.5e配線システムより格段に厳しい管理を要します。
- 配線システムの伝送性能をCat.6規格に適合させる為には、システムを構成する全ての部材をCat.6適合とすることは勿論、配線長・ケーブル敷設方法・成端加工方法等の施工条件を厳格に守り、**施工後は全ての回線について伝送性能の実測を行なう必要があります。**

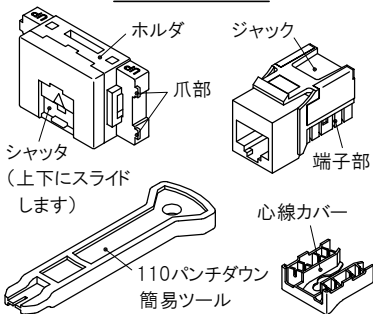
特性は、ANSI/TIA/EIA-568-B.2-1 規格による配線に使用する接続器具のカテゴリ6(Category 6)に適合。

適用電線：非シールドツイストペア（UTP）ケーブル4P（8心）

銅単線 AWG23～24（0.57mm～0.51mm）

銅単線 AWG22～24（0.64mm～0.51mm）ケーブル引出方向 後方時のみ

構成部品と名称

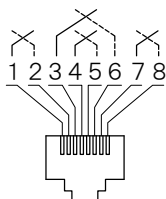


文字表示品はホルダに()内の文字が入ります。
JEC-BN-LW6L(LAN)、JEC-BN-LW6IT(インターネット)

使用上のご注意。

LAN用8極8心以外のモジュラプラグを差し込まないでください。モジュラジャックのコンタクトばねを变形させるおそれがあります。

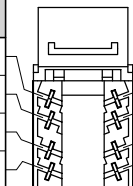
ジャック前面
ピン配列



ジャック下面 端子配列

T568 A	T568 B	端子番号
白/緑	白/橙	1
緑	橙	2
白/青		5
青		4

ジャック
前面側



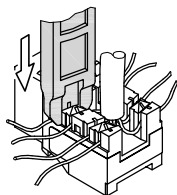
端子番号	T568 B	T568 A
8	茶	
7	白/茶	
6	緑	橙
3	白/緑	白/橙

同一ケーブルリングシステムにT568AとT568Bのピン配列を混在しないでください。



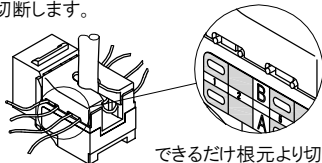
- ① 心線の絶縁体を傷つけないようにして、ケーブルの外被を30～50mm剥がします。（介在のある場合はケーブル被覆端面で除去）

UTPケーブル(Cat.6)



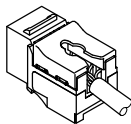
- ② 心線をジャック側面の色表示(端子配列)に合わせ、よりを戻しつつ端子部にさし込み、110パンチダウン簡易ツールで心線を奥まで押し込みます。心線のより戻し長さは、成端後の心線先端まで10mm以下としてください。市販の110ブロック専用圧接工具も使用できます。

- ③ 心線カバーがジャック下面の端子部に保持されるまで押し込み、カバーからはみ出た余分な心線は切断します。

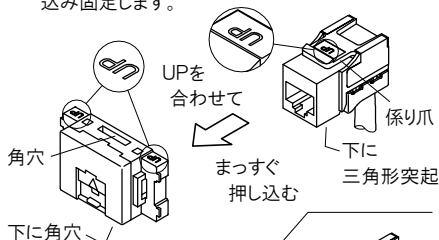


できるだけ根元より切断してください。

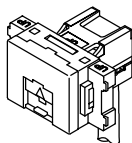
器具を上下に並べて使用する場合には、ケーブル引出方向を後方にして、成端作業を行なってください。



- ④ ホルダとジャックの向きを合わせ(それぞれUP表示面が上面)、ジャックの係り爪と三角形突起がホルダの上下角穴にかかるまでまっすぐ押し込み固定します。

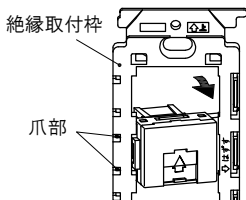


ボックスに設置する場合は、ジャックから出たケーブルが一度は器具より下側になるように施工してください。（結露水の端子部侵入予防）



- ⑤ 絶縁取付枠にとりつけるときのご注意。

ホルダの爪部を絶縁取付枠「↓はずす」表示のない側差し込んでから、器具を押し込みます。



絶縁取付枠は、この製品に含まれておりません。